



基本目標Ⅳ 地域で気軽につながれる環境づくり

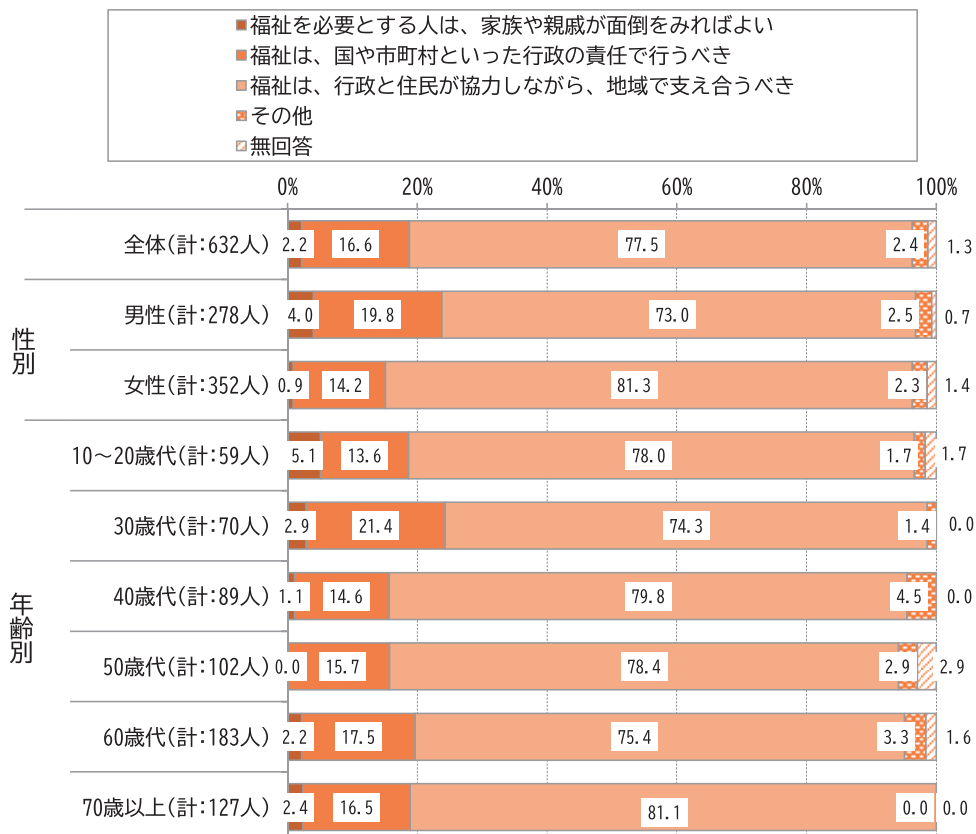
① 共に生きる社会づくり

【現状と課題】



市民アンケートでは、福祉を必要とする人に対して、「家族や親戚が面倒をみればよい」と回答した市民は僅か2.2%と極めて少数派であり、「行政の責任で行うべき」との回答も16.6%に留まっています。また、「福祉は、行政と住民が協力しながら、地域で支え合うべき」と回答した市民の割合は77.5%となっており、多くの市民が福祉について地域で支えていくという意識を持っていることが分かります(図表27)。

地域福祉においては、個性や価値観を認め合う住民相互の連帯が不可欠です。今後も外国人、貧困や失業に陥った人々、障がいのある人々等を社会的に排除するのではなく、地域社会への参加と参画を促し、社会に統合するという「共に生きる社会づくり(ソーシャル・インクルージョン)」の視点に立って、支え合いのまちづくりを推進していく必要があります。

図表 27 これからの「福祉」のあり方はどのようなべきだと思うか



※性別や年齢が不明な方も含まれるため、性別・年齢別の人数の和は全体の人数と一致しない。

 <p>市民の声</p>	<p>・安心して暮らしていくには道德教育をもっと充実してほしいと思います。</p>
 <p>関係団体等調査</p>	<p>・福祉内容を高齢者、子どもに教育するといいいと思います。 ・イベントだけではなく福祉活動月間などの長い時間アピールしていくと良いと思います。</p>

自分や家族が取り組むこと

- ◆ 人権や福祉について理解を深めます。
- ◆ 人権や福祉についての学習会などに参加します。
- ◆ 福祉や介護の制度やサービス、育児や子育て不安の解消、介護や支援の方法などに関する学習会などに参加します。

地域の組織や団体が取り組むこと

- ◆ 地域の資源や人材を活かしながら、人権、福祉、介護の制度やサービス、育児や子育て不安の解消、介護や支援の方法などに関する学習会などを開催し、かつ、その継続に努めます。
- ◆ 認知症サポーター養成講座の開催を市へ依頼し、住民に参加を求めます。
- ◆ 保育所(園)・幼稚園・認定こども園や小中学校では、児童生徒のみならず、保護者を含め、福祉や介護の制度やサービス、育児や子育て不安の解消、介護や支援の方法などについての学ぶ機会をつくれます。
- ◆ 福祉や介護の制度やサービス、育児や子育て不安の解消、介護や支援の方法に関する学習会などに多くの参加者を募るため、その開催に関する情報伝達を工夫するとともに、会場で乳幼児などを預けることができるよう努めます。

事業所などが取り組むこと

- ◆ 地域から協力依頼されたときは、積極的に協力し、地域住民への学ぶ機会の提供に努めます。

社会福祉協議会が取り組むこと

項目	取り組みの内容
福祉教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> ◆ 福祉への理解と関心を高める場づくりを進めます。 ◆ 児童や生徒を対象とした福祉教育の充実を支援します。 ◆ 住民の福祉力向上のための講座や学習会などを行います。

行政が取り組むこと

項目	取り組みの内容
人権教育及び福祉教育の充実	<ul style="list-style-type: none">◆ 人権や福祉をテーマとした講演会などを開催します。◆ 各課で開催を予定している人権や福祉をテーマとした講演会などについて、工夫を凝らすことで、より充実した企画となるよう努めます。◆ 福祉や介護の制度やサービス、育児や子育て不安の解消、介護や支援の方法などに関する学習会や出前講座などを実施し、福祉の制度や支援の方法などについての理解を深める取り組みを進めます。◆ 地域や学校、住民が訪れる機会が多い事業所において、認知症サポーター養成講座の開催を進めます。
教育に参加しやすい環境整備	<ul style="list-style-type: none">◆ 福祉や介護の制度やサービス、育児や子育て不安の解消、介護や支援の方法に関する学習会などに多くの参加者を募るため、その開催に関する情報伝達を工夫するとともに、会場で乳幼児などを預けることができるよう努めます。

② 交流・ふれあいの促進

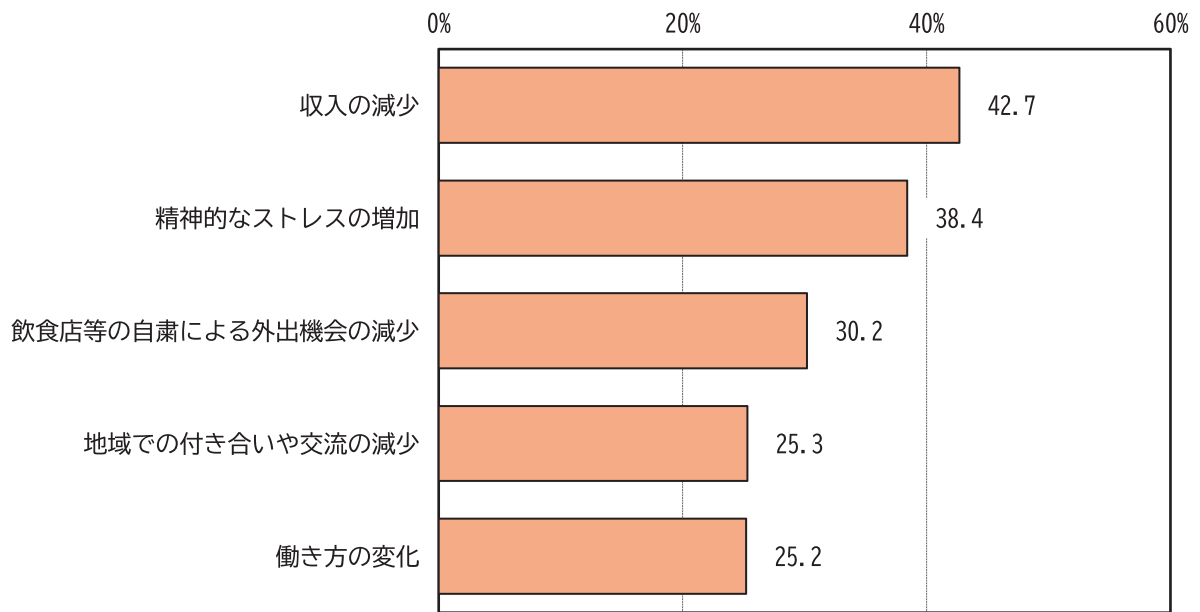
【現状と課題】

少子高齢化や単身世帯の増加などによる家族形態の変化、スマートフォンやインターネットの普及、個人の価値観やライフスタイルの多様化などにより、地域への関心が薄い人や地域との関わりが弱い人、地域社会で孤立する人が全国的に増えている現状があります。また、最近では新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、外出や他人とのコミュニケーションの機会が減り、気持ちが落ち込む、不安になるといった心の不調を抱える人も多くいます。



市民アンケートでは、新型コロナウイルス感染症の地域に与える影響としてはどのようなものがあると思いますかと尋ねたところ、「収入の減少」(42.7%)と回答した人の割合が最も多くなっています。「精神的なストレスの増加」(38.4%)に次いで「飲食店等の自粛による外出機会の減少」(30.2%)や「地域での付き合いや交流の減少」(25.3%)と回答した人の割合も多くなっており、長い時間の自粛生活により、玉名市においても地域や近所での交流は以前にも増して減少していることが考えられます(図表 28)。

今後も、不透明な状況が続くことが予測されることから、ICT(情報通信技術)等を活用した「新しい生活様式」に対応した交流の在り方を模索していくことも重要です。

図表 28 新型コロナウイルス感染症の地域に与える影響



計：632人

 <p>市民の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小さい子どもを通して親世代の交流やつながりを深めることができれば、もっと地域のつながりが濃く末長いものとなっていくのではないかと思います。 ・コロナで近所の人と集まる機会がなくなり、隣にいても3か月も顔をあわせない時があります。 ・地域に高齢者が気軽に集える場所ができればコロナ禍で寂しい思いをされている人の支援になるのではないかと考えます。
 <p>関係団体等調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・今まで開催してきた入所者との交流がコロナで全て中止となり、開催の要望が強いです。 ・他校や低学年との交流を増やして学生の活気を上げていただきたいです。 ・学校同士の交流、学校と地域の交流を増やしてほしいです。

自分や家族が取り組むこと

- ◆ 可能な範囲で、外出する機会を設けるよう心がけます。
- ◆ 自分や家族が興味関心のある交流の機会について、その情報の収集に努め、参加するよう心がけます。
- ◆ 地域で取り組む高齢者支援のサロン、子育て支援のサロンやサークルなどに参加するよう心がけます。

地域の組織や団体が取り組むこと

- ◆ 行政区の公民館などを活用した身近なところで、気軽に集える機会を積極的に設けます。
- ◆ 地域で取り組む高齢者支援のサロンや子育て支援のサロンやサークルなどへの参加を呼びかけるとともに、誰もが参加しやすいサロンやサークルの内容を工夫します。
- ◆ サロンやサークルの運営について工夫を凝らし、理解と協力を求めながら、ボランティアの確保に努めます。
- ◆ 子育て家族と高齢者など、異年齢・異世代で集い、それぞれの特徴を活かし、交流を深めることができる場や機会の充実を図ります。
- ◆ 高齢者をはじめ、参加する人たちが持つ経験や能力、特技や趣味を活かせるような交流の場や機会をつくり、充実を図ります。

事業所などが取り組むこと

- ◆ 地域のサロンへの人材、アイデア、場所の提供等、可能な範囲で協力し、地域に開かれた事業所づくりに努めます。
- ◆ 積極的に地域における取り組みを検討します。

社会福祉協議会が取り組むこと

項目	取り組みの内容
交流の場の充実	<ul style="list-style-type: none">◆ 地域で取り組むサロンなど、誰もが日常的に集い、交流し、見守り、支え合う活動ができる「場」づくりを支援します。◆ 子育て家族や家族介護者などが、お互いに悩みを語り合い、交流を深めることができる場の充実を図ります。

行政が取り組むこと

項目	取り組みの内容
交流の場の充実	<ul style="list-style-type: none">◆ 地域で取り組む交流の場や機会の活動を支援します。◆ 子育て家族のふれあいや、障がいのある人同士や家族介護者などが、お互いに悩みを語り合い、交流を深めることができる場や機会をつくり、充実を図ります。
公共施設整備	<ul style="list-style-type: none">◆ 公共施設などのバリアフリー化を図っていくとともに、新設の公共施設については、障がいのある人などの意見を取り入れながら整備を進め、交流の場や機会への参加の妨げの解消を図ります。

③ 地域活動の担い手の育成

【現状と課題】

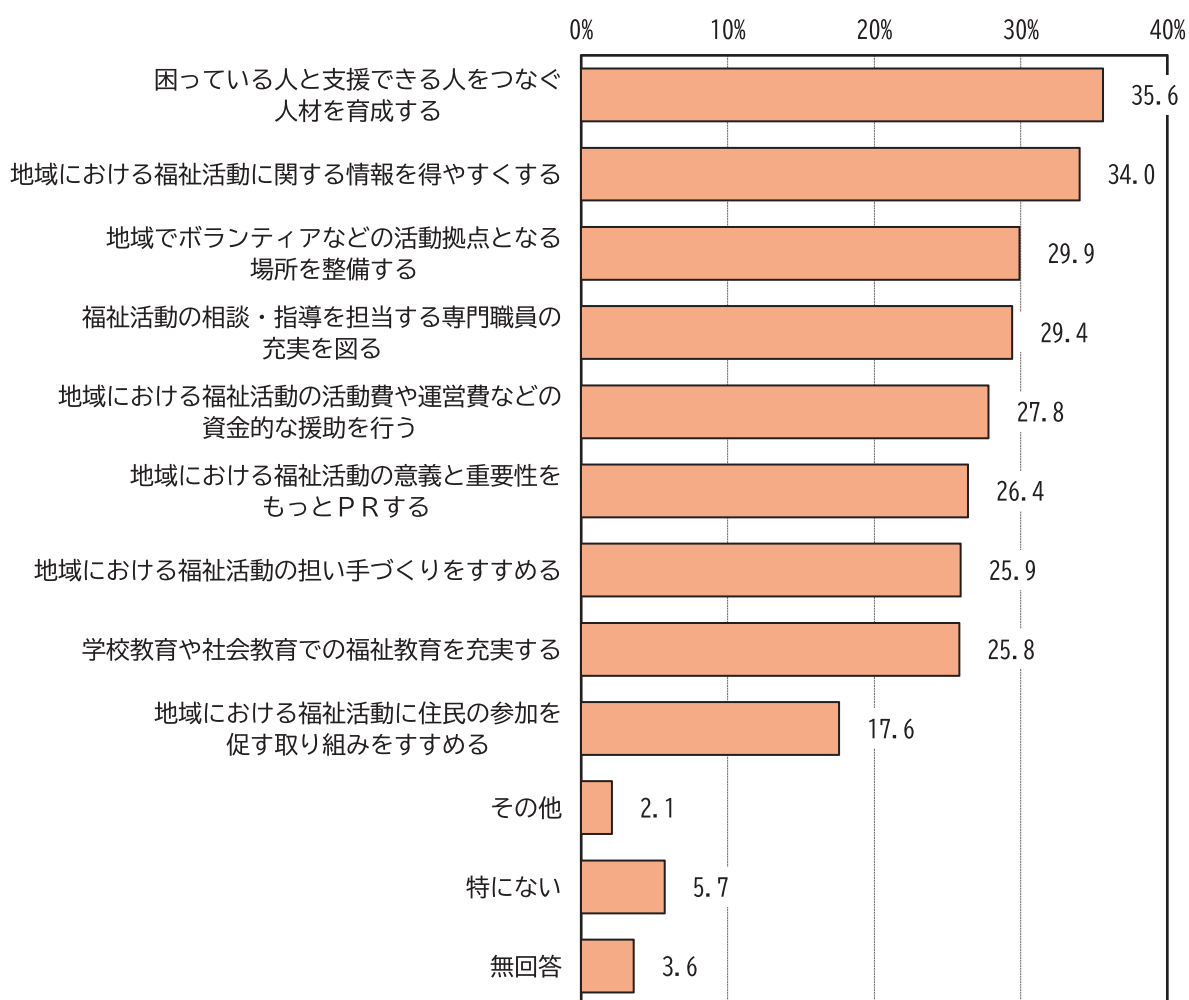
地域で活動する各団体の構成員は、地域福祉を支える重要な担い手であり、多様化する地域課題の解決に寄与する役割が期待されています。

市民アンケートでは、地域における支え合いや助け合いの活動を活発にしていくために重要なこととして、「困っている人と支援できる人をつなぐ人材を育成する」と回答した人の割合が最も高く 35.6%となっています。また、「地域における福祉活動の担い手づくりをすすめる」と回答した人の割合も 25.9%となっています(図表 29)。

また、関係団体等の調査で本市の学生に対して調査を行ったところ、94.3%の学生が、今後も何らかの地域活動やボランティア活動に参加したいと回答しています(図表 30)。参加意欲のある学生とさまざまな地域活動等を上手に結びつけることが重要です。

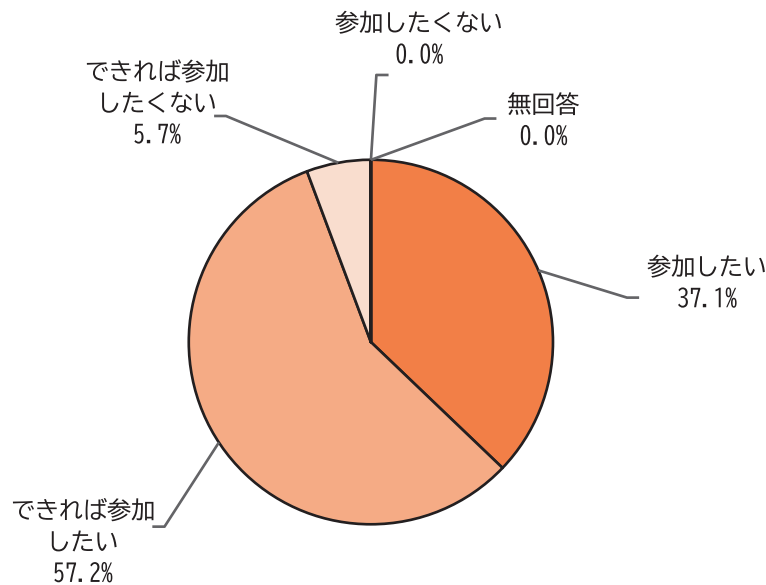
今後も、地域の担い手を育成するために意識の啓発を行っていくとともに、地域活動に参加しやすいような環境の整備や、機会の創出が求められています。

図表 29 地域における支え合いや助け合いの活動を活発にしていくために重要なこと





計：632人

図表 30 今後何らかの地域活動やボランティア活動に参加したいと思うか



計：35人

 <p>市民の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・各行政区にいる区長を地域づくりの推進旗振り役としての研修を実施してほしい。 ・平日に皆仕事をしていて若い人がなかなか参加しにくい場もあると思います。何か活動をするのであれば土日等を利用し、市やその地区を中心にもっと進めるべきであると思います。
 <p>関係団体等調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・時代の流れで最近では70歳近くまで仕事をされる人が多くなっていますが、空いた時間もあると思いますので老人クラブに入会され一緒に健康づくり等に参加されたら良いと思います。 ・年々、消防団員が減少し、団員一人ひとりに掛かる負担が大きくなっています。家族や友人に消防団への加入を積極的にすすめてもらいたいです。 ・今、高齢者の人が行ってくださっている活動を受け継いでいき、地域を盛り上げたいと思います。

自分や家族が取り組むこと

- ◆ 行政区や老人クラブ、子ども会などの活動に関心を持ち、参加するよう心がけます。
- ◆ 地域の行事や地域活動への関心を深め、周囲にも声をかけながら、積極的に参加するよう心がけます。
- ◆ 子どもとともに地域の行事に参加するなど、親子で地域にふれあう機会を大切にします。

地域の組織や団体が取り組むこと

- ◆ 地域や行政区で行われている活動や行事、また、子ども会や老人クラブなどの各種団体の意義について周知し、参加を促します。
- ◆ 地域の活動や行事については、普段あまり関わりのない人同士が交流できる場にもなることから、多様なライフスタイルのあり方を尊重しながら、年齢や障がいのあるなしに関わらず、多くの人たちが参加できるよう工夫します。
- ◆ 誰もが参加しやすいような地域行事を企画し、地域全体の交流が広がる取り組みを行います。
- ◆ 転入してきた世帯に対して地域の活動や行事などを説明し、地域への関心を高めます。
- ◆ 地域活動の拠点となる行政区の公民館について、バリアフリー化に向けた改修などの検討を進めます。

社会福祉協議会が取り組むこと

項目	取り組みの内容
地域活動への支援	<ul style="list-style-type: none">◆ 地域や行政区が実施する福祉に関する活動や取り組みを支援します。◆ 地域の各種福祉団体とつながりを持ち、地域活動の充実と自立した活動が行われるよう支援します。
担い手の育成	<ul style="list-style-type: none">◆ 地域の課題に関心を持ち、主体的に関わろうとする人材を育てる取り組みを進めます。

行政が取り組むこと

項目	取り組みの内容
地域活動の周知・啓発	<ul style="list-style-type: none">◆ 地域や行政区で行われている福祉に関する活動や行事について広く紹介します。◆ 行政区や各種団体などの活動を支援します。
地域活動の担い手の育成	<ul style="list-style-type: none">◆ 地域活動の担い手となる人たちに向けた学習会や研修などの充実を図ります。

④ 地域活動やボランティア活動の推進

【現状と課題】

地域福祉活動の担い手が不足する現在において、ボランティアは、さまざまな問題に対して自主的に活動するとともに大切な人材となります。

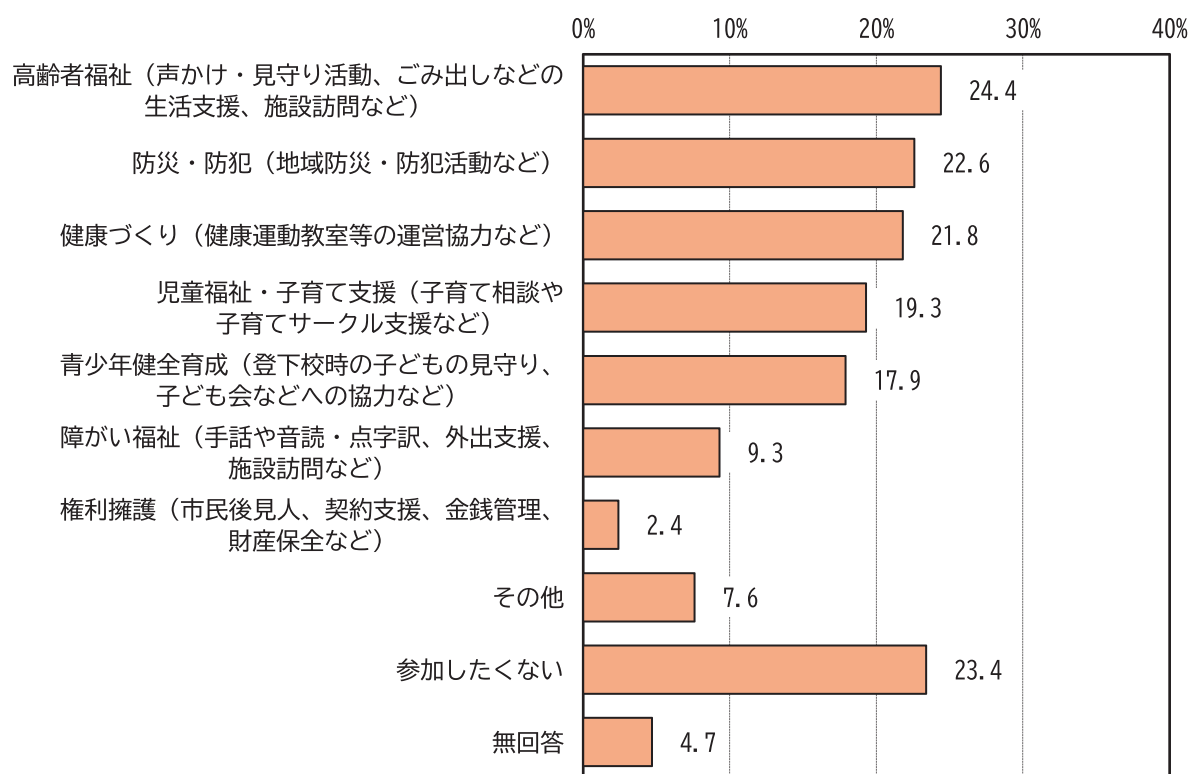
市民アンケートでは、今後、福祉に関わる地域活動やボランティア活動などに参加したいと思いますかと尋ねたところ、何らかの活動に参加したいと回答した人の割合は71.9%となっており、市民の多くが何らかの形で地域に貢献したいという気持ちを有していることが分かります(図表 31)。

その市民の気持ちを行動につなげる橋渡しを、地域や団体、社会福祉協議会等とともに、行政が担っていく必要があります。

また、関係団体等の調査で本市の学生に対して調査を行ったところ、地域活動やボランティア活動に参加する時期や時間帯として「夏休みなどの長期休」「土日、祝日」を挙げた人が圧倒的に多くなっており、平日は勉強や部活等の学生生活活動が忙しく参加したくともなかなか参加できない現状が見てとれます(図表 32)。

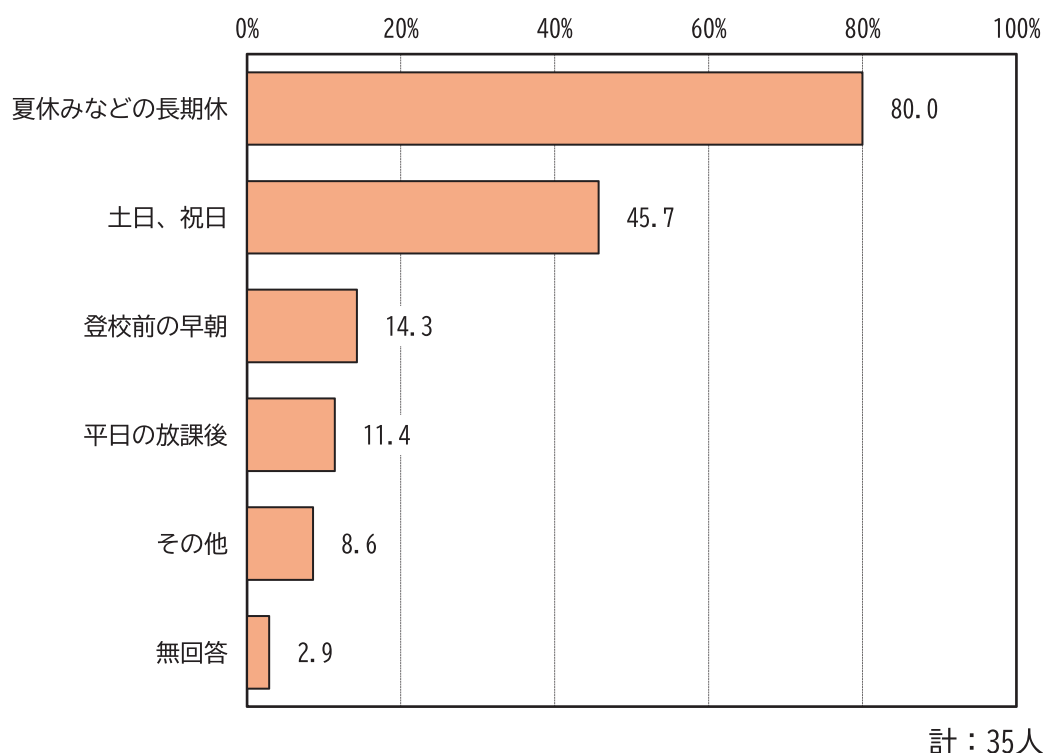
夏休みなどの長期休暇等の期間を上手に活用できるような、地域活動やボランティア活動の情報を学生に提供し、参加を促していくことが大切です。



図表 31 今後、福祉に関わる地域活動やボランティア活動などの参加意向



計：632人

図表 32 地域活動やボランティア活動に参加しやすい時期や時間帯



 <p>市民の声</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・地域活動やボランティア活動を活性化の中で、つながりを作り、相互扶助の体制を作ることが大事だと思います。 ・ボランティアをしたいと思ってもなかなか自分のできません。町内でミニデイサービスのようなボランティアがあれば良いと思います。
 <p>関係団体等調査</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校側が生徒に対して地域活動やボランティアの事を呼びかけてほしいです。学校ごとで地域に貢献できるような活動を実施できれば良いと思います。 ・ボランティア活動は積極的に個人が参加するのが一番ですが、市や学校がみんなにボランティアをしてもらう機会を作ったり、授業の一環として地域のボランティア活動に参加することを増やしたり、みんなに関心を持ってもらうことが良いと思います。

自分や家族が取り組むこと

- ◆ ボランティア活動に参加する気持ちを大切にします。
- ◆ 社会福祉協議会などで開催されている地域の担い手を育成するさまざまな養成講座や講習会に積極的に参加します。
- ◆ 趣味や特技、経験を活かして、ボランティア活動に参加します。

地域の組織や団体が取り組むこと

- ◆ ボランティア団体では、活動の充実を図っていくため、活動内容の周知に努めるとともに、新規のメンバーを増やすための取り組みを進めます。
- ◆ ボランティア団体は、地域での学習会や交流の場において、ボランティアの派遣要請に対し、積極的に応じ、活躍の場を広げます。
- ◆ 地域で開催する学習会や交流の場において、ボランティア団体の活用を積極的に進めます。

社会福祉協議会が取り組むこと

項目	取り組みの内容
ボランティアに関する情報の提供	<ul style="list-style-type: none">◆ 広報誌やホームページでボランティアに関するさまざまな情報を掲載し、活動の活性化を支援します。◆ ボランティア活動をしたい人と、お願いしたい人の相談を受け、支援を必要とする人とボランティアとの橋渡しをします。◆ ボランティア活動の知識や技術を学ぶ講演会などを開催し、ボランティアのきっかけづくりを進めます。
ボランティア団体の連携強化	<ul style="list-style-type: none">◆ ボランティア団体相互の情報交換や交流を促進し、連携強化を図ります。

行政が取り組むこと

項目	取り組みの内容
ボランティア育成支援	<ul style="list-style-type: none">◆ ボランティア活動に参加している人の生の声を伝えるなど、ボランティア活動に関するさまざまな広報活動の充実を図ります。◆ ボランティア育成の取り組みに対し支援を行います。◆ 福祉や介護に関する業務などの委託先として、ボランティア団体も含めるよう検討を進めます。
公共施設の開放	<ul style="list-style-type: none">◆ 公共施設の利用に関して、ボランティア活動での利用が容易になるよう支援します。